

塩竈市石巻市と防災に係る連携と協力に関する協定を締結しました（2023/3/29）

テーマ：包括的連携と相互の協力，防災意識，避難体制，人材育成
場所：ふれあいエスパ塩竈 エスパホール（宮城県塩竈市）

東北大学災害科学国際研究所は，この度，塩竈市と防災に係る連携と協力に関する協定を締結しました。これに際して，3月29日（水），ふれあいエスパ塩竈 エスパホールにて，「東北大学災害科学国際研究所と塩竈市との協定締結式・講演会」が開催されました。

塩竈市は，東日本大震災により多大な被害を受けた中で，「長い間住みなれた土地で，安心した生活をいつまでも送れるように」を理念に震災復興計画を作成し，未曾有の大災害により被災した市民の皆さんが1日も早く笑顔と活力を取り戻せるよう，暮らしとまちの復旧・復興に向けた様々な施策や事業などを推進しています。そうした中，2012年4月に発足した当研究所では，同市津波防災センター監修，同市防災会議委員としての参画，市内中学校での防災教育出前授業の実施など，同市との連携や協力関係が進展しています。そこで，こうした取組・連携を発展させるべく，東日本大震災の被災地での防災・減災や復興を効果的，そして実践的に進めていくために塩竈市と当研究所との関係を推進するよう，本協定の締結を行うことになりました。

式典には，当研究所から今村文彦所長・教授，菅原大助准教授（津波工学研究分野），佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）が出席しました。締結式の後には以上の3名による講演会が開催され，年度末にも関わらず，市民や中高生を含む130名が聴講・参加し，盛会となりました。



協定書署名後の記念撮影
（菅原准教授，今村所長，佐藤光樹塩竈市長，
佐藤翔輔准教授）



講演の様子（今村所長）



講演の様子（菅原准教授）



中高生・市スタッフのみなさんとの記念撮影

文責：今村文彦，菅原大助（津波工学研究分野），佐藤翔輔（防災実践推進部門）